

施策評価シート(令和2年度)

(基本施策の大綱) 1. 快適さを支える生活基盤の向上

(基本施策) (4) 道路の保全・整備

(評価担当者)

産業建設部長 大澤 哲也

基本施策が目指す姿

市民が、保全・整備された道路を利用して、安全で快適に生活を送っています。

関連する分野別計画

成果指標

	単位	現状値		実績値					目標値
				H29	H30	R1	R2	R3	
1	都市計画道路の整備率	%	58.1	H27	58.1	61.9	65.1	65.1	70.0
2	市道の改良延長	km	-	H27	0.17	0.17	1.07	1.40	2.5
3	橋梁の耐震化率	%	45.5	H27	46.4	48.2	51.8	57.4	50.0
4	道路環境美化ボランティア活動団体数	団体	9	H27	10	11	13	14	14
5									

市民アンケート調査

項目		現状値 [H27]	1次 [H30]	2次 [R2]	市民アンケートの考察
1	国道などの幹線道路が整備されている	重要度	1.21	1.18	幹線道路の整備、生活道路の整備とも重要度は高く、満足度も前回と概ね同じである。 これまでの取り組みの成果は表れているものの、さらに施策を展開することで、満足度を向上させていく必要がある。
		満足度	0.31	0.31	
2	生活に身近な道路が整備されている	重要度	1.35	1.32	
		満足度	0.28	0.26	
3		重要度			
		満足度			
4		重要度			
		満足度			
5		重要度			
		満足度			

総合評価

総合判定	左記の総合判定とした理由
A 順調に進んでいる	「生活道路の充実」及び「道路の適切な維持管理」については、順調に推進できており、個別判定をAとしている。「幹線道路の整備」及び「安全に配慮した道路整備」については、亀山市斎場線の一部完成や橋梁耐震補強などまずまず進んでおり、個別判定をBとしている。基本施策に設定した4指標の内、3指標が上昇しており、市民アンケートにおいて、幹線道路の整備及び生活道路の整備については重要度が高く、満足度も概ね前回と同じであるが高いことから、総合判定をAとした。
反省点・課題	
魅力的な道路網の構築と市内外をつなぐ広域幹線道路については、関係機関と連携し、整備の実現に向けた取り組みを行っていく必要がある。市内道路の整備については、災害に強い住環境の構築に重要な役割を果たすことから、幹線道路との接続道路や、防災上及び交通安全上の整備が必要な道路の整備に取り組む必要がある。また、持続可能な道路の保全・整備が行えるよう、地域やボランティアとの協働による推進について検討を行う必要がある。	

今後の展開方針

広域幹線道路の早期整備に向けた取り組みを関係機関と連携して展開するとともに、事業計画の見直しを適宜行い、周辺状況に応じた市内環状道路の整備を推進する。また、地域の実情に応じた道路拡幅など道路改良に取り組み、災害に強い生活道路の整備を行うとともに、道路の維持管理については、事後保全修繕ではなく予防保全ができるよう、点検や修繕の平準化など計画的な維持管理に努める。橋梁長寿命化の対象橋梁については、橋梁修繕と耐震化を一括施工できるよう、計画策定を図る。地域や道路美化ボランティア団体等との協働による道路環境美化に努めるとともに、広報や市ホームページ等で積極的な啓発を行い、取り組みの一層の拡充を図る。

(施策の方向に関する評価)

施策の方向 幹線道路の整備							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】	
B	活動	市内環状道路の整備として、市道と賀白川線の取付道路として亀山市斎場線の一部区間の工事を完成させた。	評価				市内の幹線道路の整備は、本市にとって交通渋滞の緩和、「人・もの・情報」を運ぶ幹線道路の果たす役割は重要である。国・県の道路整備については、早期整備に向けて要望活動を行う事で、鈴鹿亀山道路の都市計画決定がなされるなど、計画的な幹線道路の整備に向けて、進捗はまずまず図れている。
		国道1号関バイパス及び鈴鹿亀山道路について、市民団体と協働し、意見交換や要望活動を行った。					
まずまず進んでいる							
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17015	都市計画道路整備事業(和賀白川線)	主	27,000 / 26,430		B	B
事業以外の取組	内容					活動	成果
	国道1号関バイパス建設促進同盟会要望活動					A	B
	鈴鹿亀山道路建設促進同盟会要望活動					A	A

施策の方向 生活道路の充実							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】	
A	活動	道路の安全性や防災機能を向上させるため、歩行空間の確保、狭あい道路の改善や地域の実情にあった生活道路の整備を図った。	評価				道路利用者の安全性や利便性の向上を図る上で、生活道路の整備は重要である。その様な観点からも、交通上のネック箇所、危険個所の解消が図れている。また、狭隘な生活道路の解消が図れており、生活道路の充実は順調に進んでいる。
		また、個人や路線単位での、道路後退の事業の進捗を図った。					
順調に進んでいる							
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17017	狭隘道路後退用地整備事業	主	10,000 / 9,801		B	B
	8075	市単道路整備事業	標	41,649 / 40,062		A	A
	8206	山下8号線整備事業	標	12,995 / 12,948		A	A
	8224	南鹿島線整備事業	標	15,511 / 15,416		A	A
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向 安全に配慮した道路整備							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】	
B	活動	平成23年度策定の橋梁耐震化補強事業計画に基づき、耐震補強工事(西畑橋ほか2橋)を計画的に実施し、震災時に重要となる道路に架かる橋梁の耐震補強を図った。	評価				各地の防災拠点や避難地を連絡する道路に架かる橋の耐震化により、大災害発生時における人命の安全、被害拡大防止、災害応急対策を円滑に図ることができ、安全に配慮した道路整備は、まずまず推進できている。
まずまず進んでいる							
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17024	橋梁耐震化補強事業	主	13,910 / 13,847		B	B
事業以外の取組	内容					活動	成果

施策の方向 道路の適切な維持管理							
(個別判定)		【施策に対し、どのような取り組みを行ったか】				【左記の活動により、施策は推進できているか】	
A	活動	平成23年度策定の橋梁長寿命化修繕計画に基づき、高速道路に高架している橋梁補修工事(北山橋ほか1橋)を実施するとともに、健全度橋梁点検85橋を行った。平成26年度策定の舗装維持管理計画に基づき、舗装修繕(市道川崎白木線ほか1線)を実施した。また、道路美化ボランティア団体等との協働による道路環境美化に取り組んだ。	評価				予防保全型の考え方を取り入れ、効率的・効果的な修繕ができています。また、橋梁についても、修繕費のコスト削減が図れ、延命な維持管理に努めることができました。また、道路美化ボランティア団体との協働による道路の環境美化に努めることができ、活動団体も増加をしており、道路の適切な維持管理は順調に進んでいます。
順調に進んでいる							
関連事業	番号	事務事業の名称	区分	予算額/決算額 [千円]		活動	成果
	17018	橋梁長寿命化修繕事業	主	73,325 / 73,325		B	B
	17019	舗装老朽化対策事業	主	39,181 / 39,181		B	B
事業以外の取組	内容					活動	成果
	亀山市道路環境美化ボランティア推進					A	A